



発行所/福岡県PTA連合会  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50  
福岡県吉塚合同庁舎5階  
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767  
発行人/松尾 和昭  
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス  
https://fukuokaken-pta.jp



福岡県PTA連合会  
県に陳情書を  
提出

# 部活動の地域移行」について、 具体化と十分な周知を

その他、子どもたちを支えるための要望書を提出しました。



松尾会長(右)が提出した陳情書を市村社会教育課長(左)が受け取りました

県に提出した陳情書は、①児童生徒の命と健康を守る安全対策 ②教育の充実を図る教職員配置 ③教育環境の整備 ④生徒指導の充実 ⑤PTA活動の振興 ⑥その他 の6項目にわたります。

昨年度からの継続要望に加え、今年度は新規要望として「②教育の充実を図る教職員配置」に「部活動の地域移行について」の項目が追加されました。県としてどのように進めていくのか、具体的な要項の提示と保護者等への十分な周知を求める内容となっていました。松尾会長は「突然通知されても保護者も戸惑ってしまう。保護者にしっかりと説明ができるよう県とPTAで情報共有していきたい。少子化の中、部活動のあり方も変わってきている。現状を踏まえ、あくまでも子どもを主として進めるようにしたい」と話し、県に理解を求めました。

9月8日、福岡県PTA連合会(県P)松尾和昭会長ら5人が福岡県教育庁を訪れ、「令和4年度 小・中学生の青少年健全育成とPTA活動の振興等に関する陳情書」を提出しました。

陳情書は、各単位PTAへのアンケートをもとに毎年、総務委員会で精査し作成。子どもたちの学校生活と命、健康を守るために重要な施策について要望をまとめたもので、例年、県に提出しています。

委員会・市村社会教育課長は「コロナ禍の中、ITCなどを活用して活動に取り組むPTAに敬意を表する。さらなるPTA活動の充実のため、県教委も連携していきたい」と語りました。

今回の陳情については、県教委が各関連部署に要望内容を伝え、11月15日(火)に行う県Pとの対談で回答するとしています。

例年行う陳情について、松尾会長は「数年にわたって継続している要望も多い。一朝一夕に変わることではないが、粘り強く要望を出し続けていくことが重要」と意義を語り、「子どもたちを取り巻く状況に課題は多いが、奮闘して下さっている先生方に報いるためにも、県Pとしてできることに取り組み、ともに子どもたちを支えていきたい」と決意を示しました。

陳情書に対する県からの回答は、県P新聞令和5年1月発行号で掲載予定です。



## 福岡県PTA連合会 第2回 まなびのひろば

時を刻む 学びと交流 ~子どもたちのために協働的活動を~

大人の学びと交流を目的に、福岡県PTA連合会のすべての会員を対象とした研修会です。今年度は、「新」家庭教育宣言実践報告会も同時に開催します。政令指定都市を除く福岡県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の保護者の皆さまの参加・視聴をお待ちしています。



日時 令和5年1月21日(土) 13:00~

場所 アクロス福岡 イベントホール (福岡市中央区天神1-1-1)

参加費 無料

プログラム

- 12:00~ 受付
- 13:00~13:30 開会行事
- 13:30~14:30 “新”家庭教育宣言・実践発表
- 14:40~16:00 基調講演「テーマ：みんな地球に生きる人」アグネス・チャン氏
- 16:00~ 閉会行事

※申し込み・配信については県P連ホームページにてお知らせします。

★基調講演★ アグネス・チャン氏

「テーマ：みんな地球に生きる人」

Profile/ 歌手・エッセイスト・教育学博士[Ph.D.]。香港生まれ。1972年「ひなげしの花」で日本デビュー。一躍、アグネス・ブームを起す。上智大学国際学部を経て、カナダのトロント大学(社会児童心理学)を卒業。84年国際青年年記念平和論文で特別賞を受賞。85年北京チャリティーコンサートの後、エチオピアの飢饉地帯取材、その後、芸能活動のみでなく、ボランティア活動、文化活動にも積極的に参加する。

11/9 (水) 福岡県PTA連合会 令和4年度 参加ご希望の方は県P連事務局まで

### 子育て研修会が開催されます!

- 日時: 11月9日(水) 10:30~12:40
- 会場: クローバープラザ1階クローバーホール(春日市原町3-1-7)

◎講演: 「食卓の力~子どもの心もはぐむ食~」 講師: 佐藤剛史氏  
1973年大分県生まれ。農学博士。作家。食育研究科。九州大学大学院農学研究院助教。主な著書に「こー食卓から始まる生教育」(西日本新聞社)、「すごい弁当力!」(PHP) など。



### 南筑後 コロナ禍でもできることを

八女市立立花小学校

立花小学校のテーマは「つながろう立花」です。子どもたち同士はもちろんのこと、保護者と学校および地域がつながり、関わりながら、子どもたちを育てていきます。

ウイルス感染が猛威をふるう中、どういう形であれば活動ができるかを会員の皆さまと一緒に考えながら進めています。

例えば、今年4月に開催したPTA総会は、通常体育館に集まって行っていた形を、感染対策として校内の各教室に分散することに変え、オンラインを活用して開催いたしました=写真。

また、コロナ禍になって中止が多かった資源回収ですが、今年は、

◎各公民館に資源となる物を集め、回収事業所の方に専用車で回っていただく

◎可能なならば学校に直接持っていくの2点を工夫し、実施できました。

一日も早いコロナの終息を願い、健康に留意しながら、子どもたちに残せるものをつくっていききたいと思います。

計画を実現するにはどうするか、「思考する姿勢」を子どもも親も地域も、学校全体で大事にし、これからも活動していきたいと思えます。

(立花小PTA会長 桑原勝利)



オンラインで行ったPTA総会



令和4年度も草刈りを実施

### 福岡 草刈り地獄

糸島市立志摩中学校

皆さん糸島をご存知ですか？私は糸島に両親とともに移住し50年弱。サラリーマンの家庭で過ごしたので草刈り機に触ることもなかったのですが、草刈り機を手に入れ8年が経ちました。今まで環境を守り維持されてきた保護者に頭が下がる思いです。とにかく草木との格闘が毎年訪れます。保護者の協力を仰ぎながらやっていますが、徐々に子どもたちや世帯数が減り、環境整備に来るのは小さな草取り鋏を持ったママさんばかり！そんな事では大自然の成長著しい草木には勝てません！義務とはいえボランティアでの草刈り地獄！こんなことがいつまで続くのか？子どもに早く卒業してもらい抜け出したいと思うこの頃ですが、PTA会長をさせてもらうことを感謝し、活気ある活動にしていかなければと責任を感じる中で草刈り地獄を抜け出すために、草刈り機を持っている人だけが苦勞しないように、関わる世帯が平等に協力しあえるように創意工夫し、最終段階ではPTA会費の大幅増額に着手し、業者への委託または、草刈り機部隊の増員、草刈り機の購入、女性草刈り部隊の教育、講習など、未来へとつなげていくために考え努力していきます。

(志摩中PTA会長 堀部尚孝)

### 筑豊 価値あるカタチを継承

田川市立金川中学校

金川中学校PTAでは、生徒一人ひとりの「夢をカタチに」するための教育活動を支援しています=写真。私たちは、生徒の成長を中学校のみでとらえず、保・幼・小・中の一貫した教育支援をしています。PTAの除草作業、うどん奉仕やおやじの会による環境整備などの「協働の教育活動」を通して生徒の成就感と共に地域の連帯感も育てています。それに加え、学校・家庭・地域が持ち味を生かし「教育の総合化」を図っています。「サマーフェスタ」「まつり金川」等、地域おこしも充実しています。

ところが、「コロナ禍」で直接的なかわりができない状況になりました。しかし、人数を限定して連携する、オンラインで連携する等、「距離は離れても心は離れない」様子が見られます。これらの姿こそこれまで金川中PTAが培ってきた取り組みの普遍的成果です。「コロナ禍」は、ルーティンワークになりかけていた「協働の教育活動」の意義を再確認させてくれました。

金川中学校は、中学校再編により今年度その歴史に幕を閉じます。しかし、ふるさと金川の教育は、これからも価値あるカタチとして存在し続けると信じています。

(金川中PTA会長 加治将貴)



生徒一人ひとりの夢をカタチに近づける夢授業

### 日P全国研究大会 山形大会

## 心を育てる言葉とは



記念演奏会も行われました



鈴木一作氏による基調講演

第70回日本PTA全国研究大会山形大会「人とひととの繋がりを体感しよう！あがらっしゃい精神の山形から」が8月26日(金)・27日(土)に開催されました。

第1分科会家庭教育「迷わない子育てはしない！子育ての悩みを共有できるPTA活動」では、鈴木一作氏が「子どもの心を育てる」子育てを支えるPTAの役割をテーマに基調講演を行い、子どもたちに「大切なことは『正義・勇気・愛』で、『偉い人になれ』とは言いません。立派な人になりなさい」と伝える。大人が絶対的な味方だと、姿勢と態度で示す。死に対する実感のため、「親より先に死んではいけない」としっかりと教えなければいけない。「頑張れ」という言葉は折りの言葉で、あなたの成功を、あなたの幸せを、あなたの未来を私は信じ、祈っています」という意味があるなど、実体験を交えて講話いただきました。

子育てを通して知り合うPTA。悩みを共有できる仲間感謝し、これからも楽しみながらやっていこうと思えました。(県P副会長・香月まゆみ)

### 第15回 広報紙づくり研修会

## 伝えること、伝わること

8月20日、福岡県中小企業セクターにて「第15回広報紙づくり研修会」が開催されました。アットホームな雰囲気の中、杉村ひとみさん・神原里佳さんによる「みんなで紡ぐ広報紙」楽しく創るには「のトークセッションの後、各校広報委員の方々のグループ討議が行われました。

PTAの活動は、ここ2年ほどコロナ禍で滞っている現状があります。有効な引き継ぎを受けられない中、どこまで求められているのか、実際にどこまでできるのか、各役員は模索しています。

その中であって、各校の広報委員の方々は、広報紙を通して「必要なことをどう伝えていくか」「担ったからには、この役割にきちんと向き合いたい」と、意欲と熱意をもってこの研修会に参加しておられました。意



トークセッションの様子



グループ討議で活発に意見交換

見交換、情報交換、他校の活動を知る良い機会になったとの回答が多くありました。印象に残ったのは「すべての広報紙は一生懸命作った作品。すべてが最優秀賞だと思う」という意見です。みんな、頑張っているのです。(広報委員・大村美代子)



北九州 梅の実でみんなを笑顔に 遠賀町立遠賀南中学校

遠賀南中学校の校舎裏手には梅の木が自生しています。毎年、5月から6月頃には、やや黄みがかった鮮やかなライトグリーンの実を付けます。

遠賀南中PTAでは、この梅の実を活用した活動を行っています。今年5月29日(日)に役員やOBが集まって、梅の実を採集しました。各自が道具を持ち寄って、朝からそれぞれがポジションを決め、脚立に上ります。梅の実は低い位置にもありますが、かなり高所になっているものもあります。高所が苦手な人は多少怖い思いをしながらも、一生懸命、実をもぎました。一部に高級梅で知られる南高梅もあります。梅の実が傷つくとそこから傷んでしまうので、丁寧な作業を心がけました。

採集隊とは別に、販売用に袋詰めする作業も進めます。いくつものバケツに山盛りになった梅を係でビニール袋に詰めていきました。結果、1袋500円で保護者向けに販売した梅が60袋近く売れ、売り上げはPTAの収益となり、今後のさまざまな活動に使われることになりました。このようにPTAの活動資源として活用できるものは、探せば学校の中にまだあります。今後も今あるもので何か活動が仕組みないか、考えていきたいです。

(遠賀南中PTA会長 石橋英二)



校内の資源を活用して収益につなげました



農業体験を通して、白川米について学習

京築 地域とともに育てる 苧田町立白川小学校

苧田町立白川小学校は、苧田町の西部に位置し、豊かな自然に囲まれた児童数72人の小規模校です。校区の「等覚寺(とかくじ)の松会(まつえ)」は、国の重要無形民俗文化財に指定された伝統ある行事として有名です。

白川小学校では、子どもたちの体験活動や地域とふれあう活動に継続して取り組んでいます。「等覚寺の松会」には3・4年生が参加し、田打ちや楽打ちの所作を披露しています。また、5年生は、田植えや稲刈り、脱穀等の農業体験を通して、「おいしい白川米のひみつ」について学習しています。そして、1・2年生は地域の芋畑で芋の苗さしや収穫を体験しています。子どもたちは、さまざまな活動を通して「ふるさと白川」のよさをたくさん見つけています。

このような活動を、PTAだけでなく、白川小サポートクラブ、地域の方々が支えてくださっています。ウィズコロナの中で、子どもたちの教育環境や生活環境を大人が守っていかねばなりません。できる活動を見つけながら、今後も、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの健やかで心豊かな成長のために力を合わせて取り組んでいきます。

(白川小PTA会長 吉本新人)

北筑後 ふるさとを愛して 朝倉市立三奈木小学校

三奈木小学校は、学校の敷地に川が流れ、豊かな自然に囲まれた学校です。PTAでは、ふるさとを愛する子を育成するために「学校・保護者・地域が手を取り合おう」を合言葉にさまざまな活動を行っています。その一つとして親子や親同士の人間関係づくりを目的とした親子ふれあい会があり、各学年で内容を決めています。これまでに、魚のつかみどり、二分の一成人式、もちつき(=写真)などを行いました。各学年の学級委員を中心に企画・準備や当日の進行などを行います。魚のつかみ取りでは、学校の川に魚を放流し、子どもたちが素手で捕まえ大変盛り上がりします。

その他にもコミュニティ主催のほたる祭りや特別養護老人施設のさくら荘祭りに6年生が太鼓の演奏で出演します。その際に保護者と学校が協力し、地域のお祭りを盛り上げます。

ここ2年はコロナ禍でできていない活動も多いですが、今後も子どもたちが、ふるさとを愛し、楽しく学校生活を送ることができるよう活動を継続していきたいと考えています。

(三奈木小PTA会長 森山礼二郎)

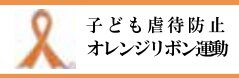


子どもと大人がふれあうもちつき

○ 地域の目が児童虐待を防ぎます

児童虐待は、児童の心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えます。「虐待かも・・・」と思った場合は、すぐにお電話ください！ 専門家が対応します。 ※ 連絡は匿名でも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

11月は「児童虐待防止月間」



子ども虐待防止 オレンジリボン運動

あなたの電話で、守れる命があります 児童虐待かも...と思ったら、すぐにお電話ください。 児童相談所 虐待対応ダイヤル 189 通話料無料

子育てのこと、頼れる場所があります 児童相談所 相談専用ダイヤル 0120-189-783 通話料無料

福岡県では、子どもの人権が尊重され、かつ、子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与するため、2022年4月に「福岡県子どもへの虐待を防止し権利を擁護する条例」を制定しました。詳しくは、https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/gyakutaibousijyourei.html もしくはQRコードにてご確認下さい。 問い合わせ：福岡県福祉労働部児童家庭課 ☎092-643-3256 ファクス 092-643-3260



福岡県PTA連合会 PTA活動災害保障制度のお知らせ

PTA活動中の事故によるおケガや法律上の損害賠償責任は

『PTA活動災害保障制度』

でカバーしています



(PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険・受託者賠償責任保険)

例えばこんな時は ご相談ください！

- ・PTA主催の親子バレー大会で、参加したお母さんが転倒して負傷された・・・
・PTA活動の除草作業中に、草刈り機から石が飛んで近くに停まっていた車の窓ガラスが割れてしまった・・・

※保障制度の詳細については、制度取扱代理店にお問合せください。

◎制度に関するお問合せ先：制度取扱代理店 株式会社コーリン (福岡県PTA連合会保障制度事務局) TEL: 0120-228-553 (受付時間：平日午前9時～午後5時)

◎制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社

D-005629 (2022-11)





山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.112

# 食べるってなあに

## 食事は姿勢良く美しく



田んぼの真ん中にある古民家カフェ、美魔女がオーナーです。先日、知人と久々に訪れました。窓の外は黄金色に輝く稲穂の波。熱々のスープとパンとサラダ、デザートとコーヒー。至福の時間です。

そこへ若い女性のお客さま。なかなかおしゃれな二人連れ。部屋の真ん中に置かれたソファ席が気になる様子です。「そちらは召し上がりにくいので窓側のテーブルにどうぞ」とお店のマダム。二人は「ここで良いです」とフカフカの椅子に身を沈めました。

こっそりこういう場面を観察するのが趣味の困ったおばさんがいることに二人は気がつきません。

料理を運びながら、もう一度マダムは窓際の席を勧めました。「デザートをこちらでされてはいかがですか」。それでも二人は動きません。

さあこの後どうなるかみなさん想像できますか。

テーブルはとても低くソファはフカフカ。分厚いスープボウルに入ったスープは熱々で、とても持ち上げていただくことはできません。そうするとスプーンですくったスープに口の方を近づけるしかありませんね。それにしても食べにくそうです。

食事のマナーで一番嫌がられるのは「犬食い」(極端な前屈姿勢で食べる姿で周囲から見苦しいとみなされる)です。せっかく素敵なカフェにおしゃれをしてきたのに、この所作では台無しです。いつか美しい姿勢で食事する大切さにも気づいてほしいとひっそりと思うおばさん(私)でした。

お箸の持ち方やクチャクチャ音を立てて食べることなどには気をつけていても、姿勢にまでは気が回らないこともありそうです。ちなみに口をきちんと閉じてもぐもぐすると口から音は漏れませんよ。

意外な気がしますが、器を持ち上げないのがマナーの国は多いのです。韓国やフランスなど多くの国ではコーヒーカップなど小さな器以外は持ち上げません。だからスプーンが発達したのかもかもしれません。肉用の大きな西洋皿を持ち上げていただくのはやはり格好悪いのです。これは文化の違いですからお互い尊重したいものです。

低いテーブルでコーヒーや紅茶をいただく時は、カップだけでなく左手にソーサーも持ち、良い姿勢でいただきますよ。

飲食時の姿が美しいだけでとても素敵な人だと思われるのですよ。

令和4年度

# 三行詩コンクール

## 入賞・入選作品が決定 おめでとうございます!

令和4年度の三行詩コンクール(後援・文部科学省、厚生労働省、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会)で、福岡県PTA連合会(県P)が選考した入賞・入選作品が決定しました。

三行詩とは、三行程度で表現された短文のこと。「家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」のテーマに沿って、家族の日常

風景や会話が思い浮かぶような生き生きとした三行詩が今年度も多数寄せられました。

県P内の応募総数は小学生・中学生・一般の3部門合計で785作品。優秀賞の15作品は日本PTA全国協議会(日P)に推薦されました。

<p>お父さんと おふろで話す 一日のできごと 心も体もボカボカだ 城崎 晃成 (筑後市立水鏡小2年)</p>	<p>家族でも てれずに言おう 大好き、 ごめんね、 ありがとう 上村 優 (太宰府市立太宰府小4年)</p>	<p>給食エプロンを見て 「大きくなったね」 と言う母 6年間アイロン ありがとう 篠崎 理心 (太宰府市立水鏡小6年)</p>	<p>優秀賞 小学生の部</p>
<p>ありがとうは いえるけど、 ごめんなさいは はずかしい でも、心の中では おもっているよ。 高口 昊 (筑後市立水鏡小4年)</p>	<p>幸せってなんだろう いろいろあるけど 今生きていることが 一番の幸せ 島津 浩夢 (筑後市立筑後北中3年)</p>	<p>「どうしたん。」 私の異変にすぐ気づく やっぱ母には かなわんなあ 出口 真帆 (築上町立権田中3年)</p>	<p>優秀賞 中学生の部</p>
<p>命をつなげよう 小さな命・大きな命 絶対に自分から 切つてはいけない 林 真未 (太宰府市立水鏡西小保護者)</p>	<p>今は「おもちゃ」を 取り合う姉妹でも 大人になれば 「幸せ」を分け合う 姉妹になると 信じて育てる親心 三原 昌利 (筑後市立水鏡小保護者)</p>	<p>「じぶんしたい」と、 何気に放ったわが子の 言葉にハツとする。 「先に」生まれたのは 私だけけれど この子はきつと 私の「先生」 高取 美也 (太宰府市立水鏡西小保護者)</p>	<p>優秀賞 一般の部</p>

**県P委員のひとりごと**

気づけば今年も残り2カ月を切りました。不安いっぱい引き受けた母親代表の役でしたが、今思うとあつという間に過ぎていく気がします。これも、この役をさせていただいたことご縁のあった方々と、いろいろな情報交換をして、私自身たくさん気づきがある日々になっているからだと思います。会議で吉塚まで通うのが、初めは正直億劫でしたが、帰宅時には行って良かった!と毎回思いながら帰っています。今月は子育て研修会も開催されます!皆さまと楽しい時間を過ごしたいなと思っています。(母親代表・住吉)

- 入選**
- 小学生の部**
- 城崎陽菜莉 (筑後市立水鏡小6年)
  - 入部 那海 (筑後市立水鏡小3年)
  - 吉田みなと (八女市立立花小4年)
  - 北島 紗英 (筑後市立水鏡小2年)
  - 辻 唯花 (筑後市立水鏡小5年)
- 中学生の部**
- 奥村ひかる (八女市立南中1年)
  - 日下部 虹 (八女市立南中2年)
  - 平嶋直太郎 (八女市立立花中1年)
  - 田島 颯徒 (八女市立南中2年)
  - 牛島 瑠珂 (八女市立南中2年)
  - 龍 駿喜 (筑後市立筑後北中2年)
  - 石野美玖里 (筑後市立筑後北中3年)